

〔10月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

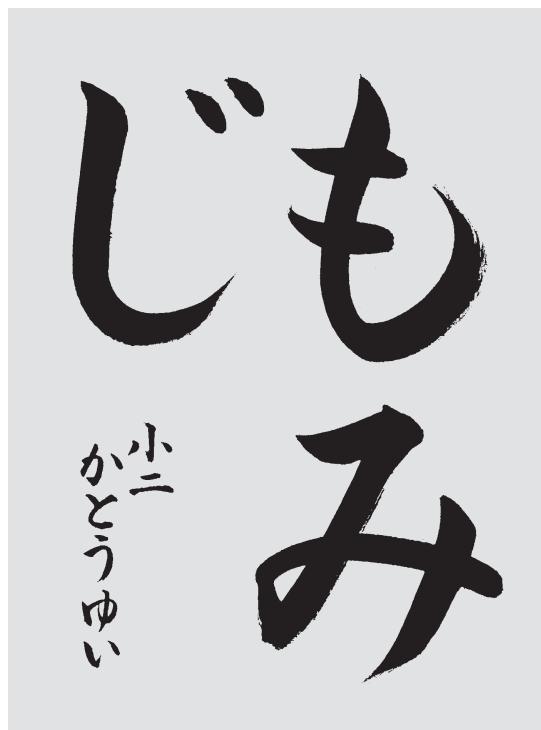


小川弘舟先生

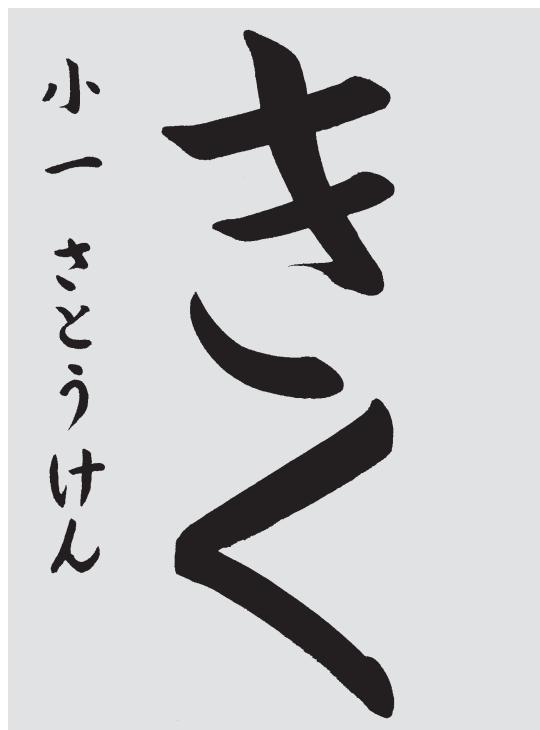
幼・小学1年参考手本



広瀬舟雲先生



小竹石雲先生



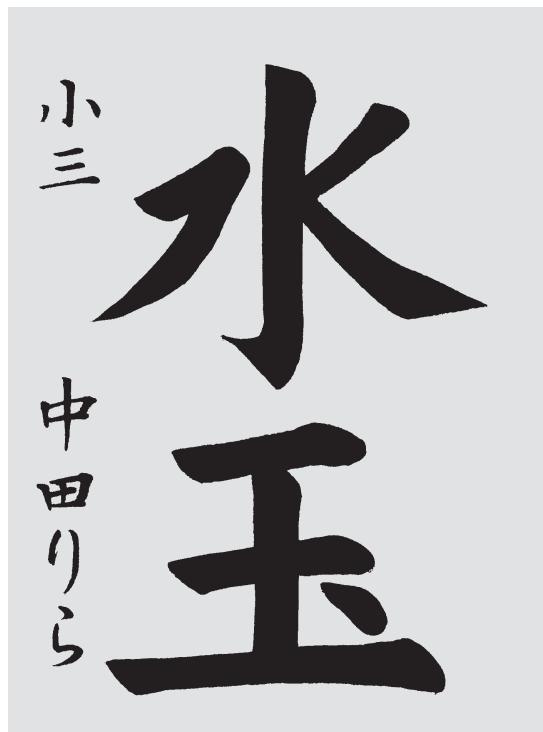
千葉蒼玄先生

〔10月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本



小学3年参考手本



〔10月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本

小六
三浦小夏

庭園

坂本素雪先生

小学5年参考手本

小五

秋田実

青空

最首翠風先生

小六
下村有里

書留

前田龍雲先生

小五
上田京

バス
皿

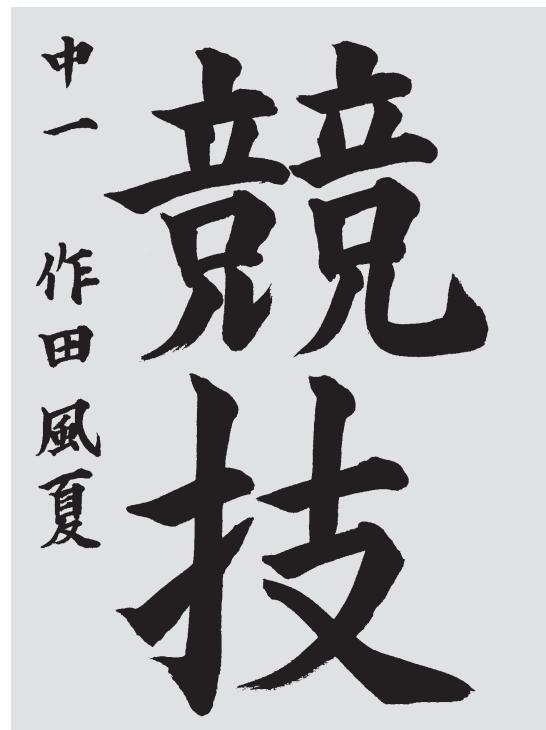
半田藤扇先生

〔10月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

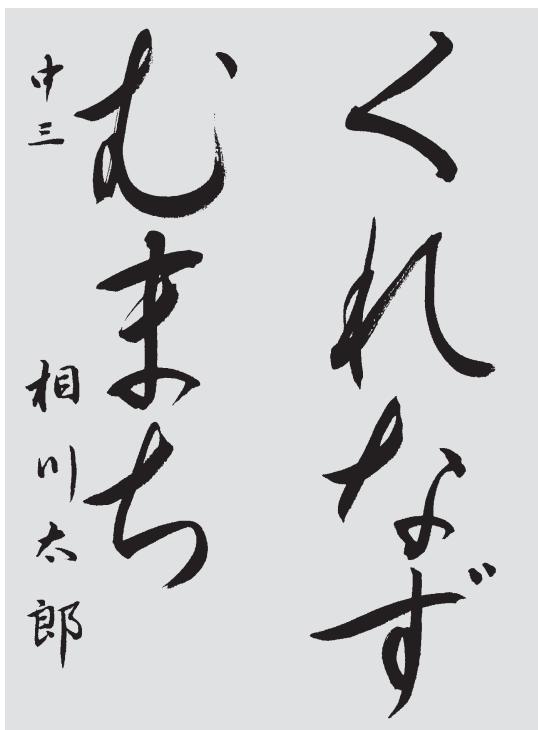
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



弓削光峰先生



尾形澄神先生



辻元大雲先生



小浜大明先生

〔10月7日締切課題〕作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学2年

幼・小学1年

支部名	し	遠	ま	ふ
段・級	み	足	ま	い
学年	で	に	し	し
二	す	行	ぎ	ぎ
名前	.	く	な	な
小林るい		の	む	む
		が	じ	じ
		楽	た	た

支部名	み	ま	ふ
だん・きゅう	ま	し	し
がくねん	し	ま	ぎ
一	た	し	ぎ
なまえ	た	た	な
	の	の	め
	あ	あ	を



筆順
とめる
白油油樂

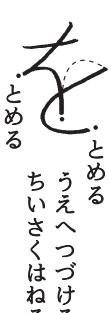


筆順
とめる
左右の払いの方向に注意して
つりあいをとる

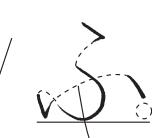


筆順
とめる
長い方向や長さにちゅういして書きま
しょう。

『遠足』は長い方向や長さにちゅういして書きま
しょう。



筆順
とめる
とめる
うえへつづけるきもちで
ちいさくはねる



筆順
とめる
「と」のいちだちゅうい
つづけるきもちでかく

『ふしぎなえ』
「とめ」「はね」「はらい」をたやすくま
しょう。

[10月7日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年

小学3年

支部名	い	た	信	号	が	青	に	変	わ	る	と、
段・級	に	く	号	が	い	ん	に	わ	く	う	。
学年	走	さ	青	い	つ	の	変	く	り	ま	。
四	り	ん	に	せ	車	が	わ	り	出	し	。
名前	田	大	青	と	が	車	と	と	し	ま	。
田畠賀子	畠	谷	に	せ	が	青	に	と	し	よ	。

中心
走

筆順
十 土 千 千 走 走

中心
亥

はねる

「とめ」「はね」「はらい」に
氣をつけましょう。

中心
号

「口」をへん平に
一画で書く

『信号』
字形を整え、ていねいに書きましょう。

支部名	に	登	あ	し	た	晴
段・級	登	り	し	ま	晴	れ
学年	ま	し	た	ま	れ	たら
三	よ	う	だ	よ	ら	山
名前	。	。	。	。	。	。
三谷大河	。	。	。	。	。	。

登

外
形
は
六
角
形

フ
タ
ヲ
ハ
ベ
ベ

△(はつがしら)の筆順

山

たてがでる

晴

「日(ひへん)」を小さく
横分間をととのえて
かかましょう。

漢字の形を正しく、ととのえて書きましょう。

〔10月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年

小学5年

支部名	酸	中		
段・級	ガ	ニ	酸	
学年	ス	化	化	
六	と	炭	炭	
名前	も	素	素	は
木原 夏音	い	は	、	、
	う	、	空	空
	.	、	気	気
			炭	

支部名	書	つ		
段・級	い	た	こ	と
学年	て	こ	と	を
五	見	こ	と	思
名前	ま	こ	と	い
宮上 真里	し	こ	と	出
	よ	こ	と	し
	う	こ	と	て
	.	こ	と	

混



比

* 比 方向に注意
(許容)

酸

『二酸化炭素』

文字の外形を見て形を整えましょう。

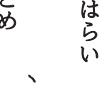
曲がり
たてが出る

家



※はらいの方向に注意して
左右のつりあいをとる。

近



「しんにょう」の
方向に注意

最



日は扁平に
(筆順)

『出来事』
筆順にしたがって正しく整えて書きましょう。

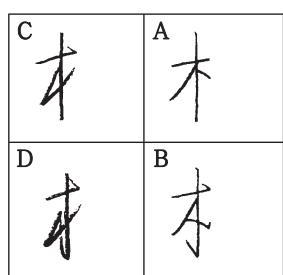
〔10月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中 学 生 (行 書)

中 学 生 (楷 書)

支部名	陰曆九月十三夜の月を「豆名月」と呼び、枝豆を供える習慣がありました。		
段・級			
学年			
中二			
名前	山中一太		

支部名	「豆名月」と呼び、枝豆を供える習慣がありました。		
段・級			
学年			
中二			
名前	金田一将		



・行書のワンポイントアドバイス
「木へん」の楷書の形（A）と、3つの行書の形（B C D）を書いてみました。いろいろな行書の木へんを覚えましょう。

中心
羽 習 慣
ひろく 方向に注意
（筆順）
とめる
慣 間かく
（筆順）
羽 習 慣
羽 習 慣
羽 習 慣
枝 一木木木枝枝
（筆順）
一木木木枝枝

『豆名月』
行の中心に注意して書きましょう。
払いがさがらない
（筆順に注意）

これからのお品締切日と課題

10月号～H29・3月号までの作品締切日と毛筆課題

※10月号の締切日を7日に変更いたします。

11月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

小 5 校内美化を委員会と協力して、全校集会でよびかけます。

幼・小1 どんぐりをひろいました。

小 6 世界の人口は、今約七十億。地球は何億の人間を養えるのか？

小 2 水そうの中でも金魚がおよいでいます。

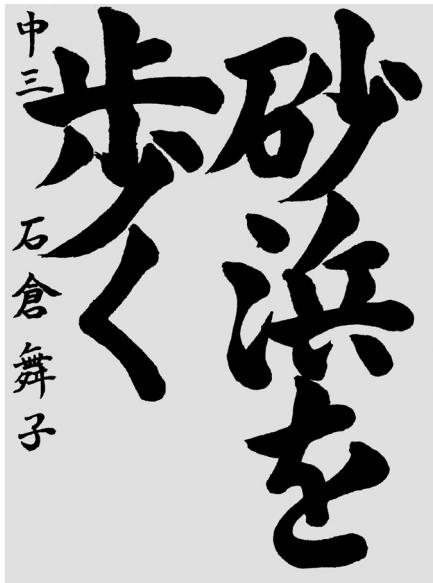
中学生 祭りにどこか懐かしい気持ちを抱くのは、そこで暮らす人々の温かい心に触れるからかも知れない。

小 3 書写と図画工作がよく意です。

小 4 けがをしたわたり鳥は、村人に命を救われ、旅立つて行きました。

中学生 (全学年共通)	小6	小5	小4	小3	小2	幼・ 小1	締切日
ル賞 ノーベル賞	競技	庭園	青空	合同	水玉	このは	ひ 10月7日 10月
むまち くれなず	秋の夜長	書留	スープ皿	風力	火山	もみじ	きく 11月10日 11月
成し お持て ひだまり のなか	縮図	街角	秋冬	木の葉	点	あかり	け 11月10日 11月
ひだまり のなか	漢和辞典	働く	気配り	集中	ランプ	おやつ	そら 12月6日 12月
知る 字源を	温暖化	ブランド	公表	詩人	川上	まぼう	ら 12月6日 12月
るそみわた るそみわた	風力発電	人権	理想	もみの木	木ねじ	ひなた	かぶ 1月10日 H29・1月
故郷 生まれ	誠実	発展	思いやり	毛筆	とり年	てがみ	さ 1月10日 H29・1月
はまぶしい はまぶしい	白雪紅梅	事始め	雪原	先がけ	大会	ヒント	ゆめ 2月9日 2月
の太陽系	観察	宣言	クレヨン	切手	金づち	ミルク	な 2月9日 2月
をまつ ゆきどけ	三寒四温	氷点下	最初	考える	土星	あした	おに 3月9日 3月
尽くす 最善を	卒業式	公式戦	信念	科学	テレビ	もけい	み 3月9日 3月
えがお やさしい	万里長城	世界地図	花だより	緑茶	白くま	リズム	むれ 3月9日 3月

今月のホープ



中三 石倉舞子（春竹支部）

点画がしっかり力強く安定しています。落ち着いた筆使いで、「はね」「はらい」などもていねいに書けています。

支部名	竹の子
段・級	
学年	六
氏名	木村桃子
木の華会	ひをしました。
だん・きゆう	きのう
特	き
がくねん	の
一	う
なまえ	、
むらのかすと	はな

小六 木村桃子（竹の子支部）

文句なしに堂々の作。正しく美しい字形で力強く歯切れのある線質は余白に響く。一貫したリズムは落ち着き有。



小四 中村和樹（光峰支部）

一点一画たいへん丁寧で、名前まで一貫して心のこもった作品。字形も美しく温か味もあり、素晴らしい。

支部名	木の華会
木の華会	ひをしました。
だん・きゆう	きのう
特	き
がくねん	の
一	う
なまえ	、
むらのかすと	はな

文字の形が正確です。力強く、のびのびと書き上げました。スケールの大きな、立派な作品です。

小一 村野一翔（木の華会）

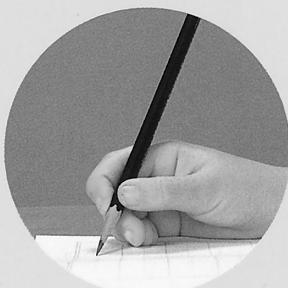
正しい しせい、正しい もち方

かた

◆ 正しい しせい で すわろう。



◆いつも 正しい しせい、正しい
もち方で書こう。



◆もち方は 正しいか たしかめよう。

筆順を学ぼう



	玉	ギョク たま	一 丶 卍 王 玉	
3年	火	カ ひ (ほ)	丨 ノ 少 火	
4年	風	フウ (フ) かぜ (かざ)	ノ 几 凡 同 風 風	
5年	青	セイ (ショウ) あお あお・い	一 十 土 丂 青 青	
	皿	さら	丨 冂 皿 皿 皿	
	庭	ティ にわ	宀 广 広 庭 庭	
6年	園	エン その	口 門 園 園 園 園	
	留	リュウ (ル) と・める と・まる	匚 亾 𠂔 留 留 留	
	競	キョウ ケイ きそ・う せ・る	立 吉 竞 賽 賠 競	
中学	秋	シユウ あき	一 二 千 禾 和 秒 秋	
	長	チョウ なが・い	丨 𠂔 丌 長 長 長	
	賞	ショウ	丨 ノ ノ 忄 嘉 賞 賞	

行書を学ぼう (300)

(中学生の課題より、辻元大雲先生書)

行書と教科書体楷書の「ちがいを見つけましょう」



ひらがなのはらん (300)

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

源字	字形
ち	ち
ま	ま
む	む
ず	寸
な	奈
れ	礼
く	久
	久
	久

* 源字については、異字体から変遷したものに *印をして()にその字体を記した。
* 字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段には源字の変遷過程等を配した。

第70回記念書道芸術院展併催

第68回 全国学生書道展作品募集規定（抜粋）

会期 平成29年2月16日（木）～2月21日（火）9：30～17：30

（入場は30分前まで）

ただし、2月21日は14：00まで（入場は30分前まで）2月20日（月）都美休館

会場 東京都美術館（東京都台東区上野公園）

参加資格 第1部 幼児・小学生

作品締切・搬入

第2部 中学生

日時 平成28年10月24日（月）

第3部 高校生

第4部 大学生・専門学校生

（前回までの大賞受賞者は、同一部門内（例 第1部小学生部の内）においては招待出品とします。出品料は無料）

部門 ① 半紙部門（たて34cm よこ25cm）

② 半切1/2部門（70cm×35cm）

（どちらの部門にも出品できます。）

	半紙部門	半切1/2部門
出品点数	<ul style="list-style-type: none">一人何点でも出品できます。団体、個人とも10点以上で参加できます。 <p>※半紙と半切1/2のどちらかが規定数に達していれば出品できます。</p>	<ul style="list-style-type: none">一人2点まで出品できます。団体、個人とも1点以上で参加できます。
出品料	• 1点 500円	• 1点 1000円（一人2点まで）
募集作品	<ul style="list-style-type: none">1 書写、書道作品、字句は自由2 毛筆、硬筆など表現自由。3 幼小中学生は<u>学年氏名を本人が書く。</u>4 高校、大学生は落款の体裁を整える。	<ul style="list-style-type: none">1 幼児・小・中学生は<u>別紙規定課題</u>を書く2 高校、大学生は<u>課題自由</u>（創作または臨書）3 幼小中学生は<u>学年氏名を本人が書く。</u>4 高校、大学生は落款の体裁を整える。
作品大きさ	<ul style="list-style-type: none">普通の半紙版以内（たて長使用） (たて34cm よこ25cm以内) (この大きさ以内の小さいものは半紙に糊付)	<ul style="list-style-type: none">小画箋半切1/2以内（70cm×35cm）幼児・小・中学生は縦長使用に限る（課題有）高校・大学生は縦横自由（創作臨書自由） (この大きさ以内のものは半切½に糊付)
出品要領	<ul style="list-style-type: none">同一人の作品は左上をゼムクリップ止め作品の表に黒鉛筆で下記の①から⑤を記入 ① 校名 ② 学年 ③ 名前 (①～③は内申上位1割について記入) ④ 代表番号 ⑤ 作品番号※多数出品の場合も1枚ごとに全て記入※代表番号は出品予約申し込みにより通知。	<ul style="list-style-type: none">同一人の作品は左上をゼムクリップ止め作品の表に黒鉛筆で下記の①から⑤を記入 ① 校名 ② 学年 ③ 名前 (①～③は内申上位1割について記入) ④ 代表番号 ⑤ 作品番号2点出品の場合も1枚ごとに記入※代表番号は出品予約申し込みにより通知。

半切 ½ 部門 課題

小 1	み ち	く さ	小 6	家 族	記 錄
小 2	は る	ゆ め	中 1	春 風(行書)	無 限
小 3	日 光	文 化	中 2	習 慣	誠 実(行書)
小 4	大 筆	開 花	中 3	遺 跡(行書)	感 謝
小 5	上 達	実 行			

「全国学生書道展指導者作品展示」

児童、生徒と同じ半紙サイズで、現代書の多様な表現、書の楽しさ幅広さを皆様にご覧いただいております。書道芸術院関係役員、学生展指導者、書塾指導者の皆様の積極的なご出品をお願いします。

• **出 品 資 格**

- ・本展出品指導者
- ・「書道芸術学生版」支部指導者
- ・書道芸術院審査会員

• **会 期**

- ・平成29年2月16日(木)～2月21日(火)
(2月20日(月)都美休館)

• **会 場**

- ・第68回全国学生書道展会場
(東京都美術館)

• **作 品 寸 法**

- ・半紙額内自由
 (額内寸 50 × 38 cm 以内)
 (タテ・ヨコ自由)

- ・マクリのまま出品

(本院で一括表装依頼)

• **出 品 料**

- ・15,000 円

(1人1点、表装料・返送料含む)

• **出 品 手 続 き**

- ・出品要項、出品票等を出品資格者へ別便にて送付する。

- ・必要な方はご請求ください。

• **出 品 締 切**

- ・平成28年10月24日(月)
(学生展作品と同じ)

- ・詳しくは別紙要項をご覧ください。

書道芸術学生版

秋季昇級試験規定

・・硬筆

一、しめきり日 10月7日(金)

一、発表 10月下旬

毛筆の部

一、課題

○試験は次の課題文字による。

幼・小学校一年生 たけ (かいしょ)

二年生 ちず (かいしょ)

三年生 今日 (かいしょ)

四年生 父母 (かいしょ)

五年生 平等 (かいしょ)

六年生 追求 (かいしょ)

中学校一年生 調和 (楷書か行書)

二年生 賛成 (楷書か行書)

三年生 勝敗 (楷書か行書)

一、受験料 各部一点 500円

毛筆
硬筆
共 一人一点



一、書体

○小学生は楷書 (かいしょ)

○中学生は楷書または行書

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本

人が毛筆で書く。(幼・小一の方は、

学年を書かなくてもよい)

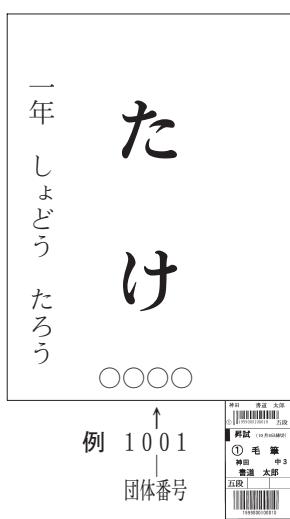
一、受験票

応募書類と同送される段級が印字された「昇級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかり貼付する。

(毛筆・硬筆共)

○応募書類は9月25日以後に、受験番号を記入した応募書類と「昇級試験用」バーコード出品券を送付する。

○左図のように記入して出品する。作品中央下に赤字で団体番号を記入する。



○くわしいきまりは、追ってお知らせいたします。
※10月号の購読部数を越える受験はできません。

○受験料は、指定の振替用紙で締切日までに送金のこと。

小学 3 年

小三 山口もえ

今
日

小学 2 年

小二 田中大

ち
ず

小学 1 年

小一 みうらともこ

た
け

前田龍雲先生

廣瀬舟雲先生

三浦鄭街先生

小学 6 年

小六 山本広

追
求

小学 5 年

小五 山崎好美

平
等

小学 4 年

小四 高田朋也

父
母

廣瀬舟雲先生

名越蒼竹先生

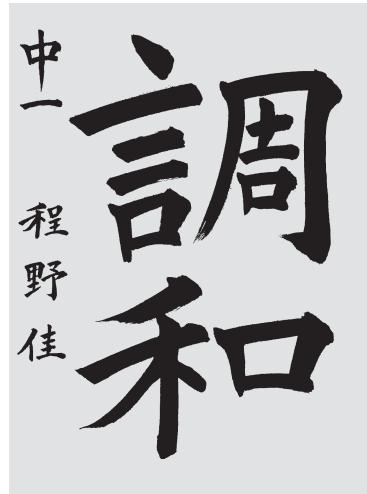
名越蒼竹先生

中 学 3 年

中 学 2 年

中 学 1 年

楷書

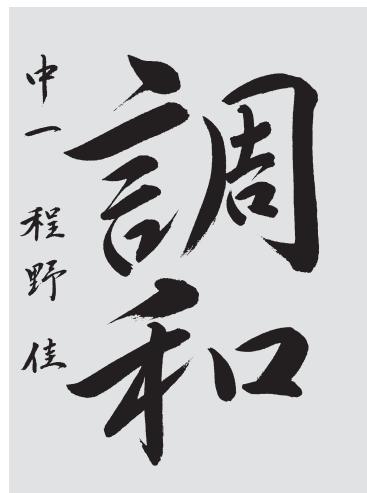


辻元大雲先生

小竹石雲先生

種谷萬城先生

行書



辻元大雲先生

小竹石雲先生

種谷萬城先生

硬筆の部

支部名	
段・級	
学年	
二 名前	
中山海心	さんほしました。

支部名	
だん・きゅう	
がくねん	
一 なまえ	
ふじたこたろう	わたしくいです。

支部名	
段・級	
学年	
四 名前	
福山太陽	しいです。を取つたりするのが楽水辺で遊んだり、虫

支部名	
段・級	
学年	
三 名前	
角田百花	ふしぎに思つて首

小学 4 年

小学 3 年

- 一、くわしい規定は、「毛筆」と同じです。
- 一、用紙は、本院指定のものを使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品する。○学年相当の用紙で書く。
- 一、課題(各学年用)文字は、参考手本通りに書く。
- 「空欄」「。」「、」も正しく書く。

- 一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人が書く。
- 一、幼・小一の方は学年を書かなくてよい。
- 例「ふじた こたろう」
- 支局、支部名は、本人が書けない場合はゴム印でもよい。
- 一、受験票は、応募書類と同送される段級が印字された「昇級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかりと貼付する。
- ※10月号の購読部数を越える受験はできません。

支部名	秋の彼岸のころ真っ赤な花を咲かせるヒガンバナは、球根だけでふえる植物です。
段・級	
学年	
中一	
名前	吉野 陽介

支部名	歌です。
段・級	
学年	
六	
名前	加藤 莉紗

支部名	後に強い南風がふくけ
段・級	
学年	
五	
名前	川辺 彩葉

秋季昇級試験で硬筆の部を受験される方は、硬筆の部を受験される方は、硬筆の部を受験される方は、硬筆の部を受験される方は、

本院指定の用紙(月例と同じ用紙)を使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品してください。

用紙は、一冊30枚づづり。送料を含んだ金額は下記通りです。

◎硬筆用紙は、学年別に4種類あります。

- ① 幼・1年生用 ② 4・5・6年生用
- ③ 2・3年生用 ④ 中学生用

料金表 (送料含む)

硬筆用紙9冊以下 (1冊100円+送料)

冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
1	245 円	4	615 円	7	1,000 円
2	405	5	800	8	1,100
3	515	6	900	9	1,250

10冊以上のご注文は、送料無料。

秋季昇級試験

硬筆の部

を受験される方へ

支部名	秋の彼岸のころ真っ赤な花を咲かせるヒガンバナは、球根だけでふえる植物です。
段・級	
学年	
中二	
名前	田中 彩香

漢字に親しもう

かん

じ

79

今回は漢字からすこし離れて、五年毛筆課題から「スーパー皿」、中学生毛筆課題から「ノーベル賞」の一いつをとりあげ、カタカナについてスポットをあててみます。

起源…カタカナは九世紀頃に、僧が漢文を和読するため漢字の一部を省略したことになります。漢字の字体の一部をくずしたものが多くなっています。

○今回のカタカナの字母

ス： 須 フ： 不 ノ： 乃 ヘ： 部

シ： ツ： ハ：

ル： 流 ピ： 半濁点 ベ： ビ

一： 長音記号 プ： ○ リ： リ

(カタカナで音を伸ばすときに使います。)

○まちがいやすいカタカナ

○番查に係わらせていただいて二回めになります。
① 氏名をしっかり書きましょう。

課題はたいへん良くできているのに名前が難になっていて惜しいという作品をたくさん見ました。また、「幼」にだす人はしっかりおけいこをして、氏名をいれるようしましょう。

② 硬筆課題ですが、違反ではないのですが勉強ですので自分で支部名まで書くようにしましょう。

○上の「漢字に親しもう」今回は漢字ではなくカタカナを取り上げました。毛筆で書くときだけではなく間違いややすいカタカナは普段から

形と線の方向に注意してください。(豪峰)

